

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	下部消化管外科学 Colon and rectal surgery	DM_1429	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	--------------------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
板橋	◎橋口 陽二郎	松田 圭二 野澤 慶次郎 (病院准教授)		金子 建介 端山 軍 島田 竜 福島 慶久	
ちば	◎幸田 圭史		小杉 千弘 雄井 彰大		
-					

	下部消化管外科学Ⅰ（1年次）				下部消化管外科学Ⅱ（2年次）				下部消化管外科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	① 指導医のもと病棟主治医としてベッドサイド教育、他科からのコンサルテーションを履修する。同時に講義、演習、実習を修学する。 ② 上部消化管、肝胆膵、胸部外科、心臓血管外科、その他(乳腺外科、内分泌外科、小児外科など)を一定期間履修し副科目とすることができる。				①講義、演習、実習、外来実習にて臨床経験を継続するとともに、指導医のもとに実験に従事し、学会発表を行う。 ② 上部消化管、肝胆膵、胸部外科、心臓血管外科、その他(乳腺外科、内分泌外科、小児外科など)を一定期間履修し副科目とすることができる。 ③毎月一回、木曜日夕方の内科との合同消化管カンファレンスを副科目とすることができる。 ④毎月一回、月曜日夕方の内科・病理・放射線科とのがんサージボードを副科目とすることができる。				①講義、演習、実習、外来実習にて臨床経験を継続するとともに、指導医のもとに実験に従事し学会発表する。 ②毎月一回、内科との合同消化管カンファレンスを副科目とすることができる。 ③毎月一回、内科・病理・放射線科とのがんサージボードを副科目とすることができる。			
到達目標	① 下部消化管疾患による症状に対して診断確定までの的確な検査計画を作成できる。 ② 各種の検査結果からの的確に下部消化管の悪性疾患および良性疾患の診断ができる。 ③ 下部消化管疾患の診断に必要な検査を行うことができる。				①下部消化管疾患に対する難易度の高い手術を行うことができる。 ②専門性の高い外科的診断および治療方針について、各領域からのコンサルトに対応できる。				①下部消化管疾患に対する開腹および腹腔鏡手術を行うことができる。 ②専門性の高い外科的診断、治療方針について、各領域からのコンサルトに対応できる。 ③外科的診断、治療を通じての精度管理、倫理的事項への対処、医療安全上の諸問題への対処が指導的立場で行える。 ④外科学における最新の診断、治療に関する治療情報を発信できる。 ⑤学会発表を行う。			
事前事後学修	①英語の学習、英語論文を読む。 ②プレゼンテーションソフトウェアを習得し試用できるようになる。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				①英語の学習、英語論文を読む、英語論文の要約ができる。 ②統計ソフトウェアを用いて簡単な統計解析ができる。(t検定、分散分析など) 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				①英語の学習、英語論文を書けるようになる。 ②統計ソフトウェアを用いて高度な統計解析ができる。(生存分析、多変量解析など) 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度 40% (発表、課題提出、出席状況等) 理解度 30% レポート 30%				受講態度 30% (発表、課題提出、出席状況等) 理解度 30% レポート 40%				受講態度 20% (発表、課題提出、出席状況等) 理解度 30% レポート 50%			

■主な演習(講義・実習含む)

	下部消化管外科学Ⅰ (1年次)	下部消化管外科学Ⅱ (2年次)	下部消化管外科学Ⅲ (3年次)
板橋	月 曜日 7 : 45 ~ 8 : 15 下部消化管疾患の薬物療法	月 曜日 7 : 45 ~ 8 : 15 下部消化管疾患の薬物療法	月 曜日 7 : 45 ~ 8 : 15 下部消化管疾患の薬物療法
	月 曜日 9 : 30 ~ 17 : 00 手術技術基礎	月 曜日 9 : 30 ~ 17 : 00 手術技術	月 曜日 9 : 30 ~ 17 : 00 手術技術
	火 曜日 7 : 30 ~ 8 : 30 臨床症例検討会	火 曜日 7 : 30 ~ 8 : 30 臨床症例検討会	火 曜日 7 : 30 ~ 8 : 30 臨床症例検討会
	月 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 下部消化管手術(開腹・腹腔鏡)	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 下部消化管内視鏡の手技Ⅱ	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 下部消化管内視鏡の手技Ⅲ
	月 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 下部消化管内視鏡の手技Ⅰ	火 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 下部消化管手術(開腹・腹腔鏡)	水 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 化学療法、放射線治療、分子標的薬の進歩
	水 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 手術に必要な下部消化管の解剖と生理機能	水 曜日 14 : 00 ~ 15 : 00 下部消化管に対する腹腔鏡下手術	金 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 下部消化管手術(開腹・腹腔鏡)
ちば	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :
	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :
	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :
	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :	曜日 : ~ : 曜日 : ~ : 曜日 : ~ :

教科書・参考書

標準外科学、TEXT外科学、大腸癌取扱規約、大腸癌治療ガイドライン、外科学概論(第4版)南江堂

その他履修上の注意事項

研究活動において基礎的実験技術、基礎・臨床データの解析法、評価法を習得する。並行して臨床研修を行うことにより研究と臨床をつなぐtranslational researchを理解する。臨床的には、外科的技術、外科的処置、内視鏡的診断・治療手技を習得する。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	上部消化管外科学、肝胆膵・移植外科学、胸部外科系、心臓血管外科学 その他(乳腺腫瘍学、内分泌外科系、小児外科学など)
	共通科目	消化器疾患特論(必修)

関連する専門医資格

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医

キャリアパス(モデルコース)

